

さとわ

No.18

さとわ

緩和ケア病棟「郷和」理念

1. 豊かな自然環境の中で、その人の気持ちに添ってケアするとともにその家族を支援します。
2. その人のもつ苦痛の緩和につとめます。
3. その人の希望に添って自宅での生活を支援します。



施設長 篠川 主

面会制限の続く郷和より

現在COVID-19感染が第7波に入った状況でこの文章を書いております。入院患者様の御家族への面会制限も変化しながら3年間続けてきました。オンライン面会、ガラス越し面会等続け、第7波の前には回数・時間制限はあるものの、病室での直接面会までこぎつけたところでした。何とか入院患者様と御家族の面会をかなえられないかと、スタッフが感染状況を分析し努力を重ねてまいりました。第7波の急激な患者数の増加により、断腸の思いで直接面会は急変時を除き中止させていただくことになりました。そればかりか病棟スタッフが濃厚接触者となったり、自身がコロナ患者となり休職せざるを得ない事態にも至っております。また偶然他の事情で出勤できないスタッフも複数重なり、病棟職員が不足するという事態が続きました。このため入院の受け入れも従来通りにできない状況に至り、歯がゆい思いを致しております。幸い皆様の面会制限に対する御理解、御協力により入院患者様がCOVID-19に感染するという不幸な出来事は回避されてまいりました。

最近面会制限が及ぼす心理的影響を患者、家族、医療従事者にアンケート調査した論文が発表されております。それによりますと入院患者様より、御家族の方が気持ちの落ち込みが強いという結果が報告されております。私達医療スタッフも入院患者様の病状をより正確に御家族にお伝えしようと、日々検討し努力を重ねてまいりました。

ボランティアの方々も3年間院内でのお手伝いを頂

けない状況が続いております。病棟スタッフが毎月の行事の継続に努めていております。敷地内のプランターでの野菜の栽培の拡大、花を植え、花壇を開墾し、ジャガイモや枝豆など植えたところ、その管理・維持には結構労力を要するようになりました。スタッフの助けを借り何とか頑張ってきましたが、収穫した野菜を患者様に喜んで食べて頂けるだけでなく、暑い日に90歳以上の患者様も多く参加していただいて、ジャガイモの収穫を楽しんでおられた時の、皆様の無垢の笑顔は感動的でした。がんを患い過ごす日々、突然別の時空に入り込んで、解き放たれ、自由な気分浸っておられるように感じられました。

今郷和はほぼ閉鎖された環境となっておりますが、少しでも入院患者様には穏やかな日々を過ごして頂けるよう願っております。

また7月下旬より3回に分けて開催を予定をしておりました御家族様の会を、コロナ感染者急増のため急遽中止させて頂きました。参加を予定されておられた皆様には大変御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。

またボランティアの皆様が活動を休止しておられました間、中心的に活躍をされていたメンバーの御一人が他界されました。生前の献身的なご活動に衷心より感謝を申し上げますとともに、御冥福をお祈り申し上げます。その崇高な御遺志を忘れることなく、さらにスタッフ一同緩和ケア病棟「郷和」の在り方を熟慮しつつ職務に励んでまいります。

私が緩和ケア病棟で働きたいと思った理由

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
安川 良美

看護師になりたいと思ったのは、テレビドラマがきっかけでした。中学生のときに職場体験をして、看護師にやりがいを持って働いている姿を見て、とても憧れたのを覚えています。看護学生になり、色々なジャンルの看護を学び、その中でも緩和ケアが一番魅力的でやりがいがあると思いました。

人は生まれてから必ず死を迎えます。自分が死ぬことを想像するのは中々難しいです。死生観を持つことが大事だと学び、自分はどのように生きて、どのように命を全うするか。まだきちんとした答えは持っていませんが、人それぞれの価値観があり、さまざまな人生があります。看護師としてその人の価値観や人生を知ることができ、関わる事ができる

ことに魅力を感じました。そして、死へのさまざまな思いを感じている患者様とご家族に対して、一つ一つの言動・行動で緩和することのできる仕事にやりがいを感じ、緩和ケアを選びました。今働いている中で、自分の未熟さを痛感し、どんな風に声を掛ければよかったのか、どんな行動をすればよかったのか、憧れていた半面難しさを痛感する毎日です。日々カンファレンスを行い、患者様やご家族、先輩看護師や先生から学び自分の力にして、少しでも成長できるように頑張りたいと思います。また、お看取りをすることはご家族にとって数少ない経験であること、決して当たり前ではないことを忘れずに、その場に携われることを感謝して寄り添っていきたいと思います。

緩和ケア病棟の栄養士として

南部郷厚生病院 管理栄養士
大関 希

厚生病院へ異動し6月で8ヶ月になります。初めて郷和に入った時、ここはホテルかと思ったぐらい広い病室と大きい窓から見える景色に驚きました。

緩和ケアの患者さんを担当するのは初めてで不安でしたが、異動して間もない頃に患者さんより「ここは食事が美味しい、入院中食事は唯一の楽しみ」という言葉をいただいたことがとても嬉しく、少しでも患者さんの役に立ちたいと思いました。栄養士として主に入院時の嗜好調査、食欲低下時の食事相談をさせていただいています。

疾患の影響にて味覚異常や食べにくさを訴えられる患者さんがいます。患者さんの話を聞き、病状にあった食事を提供しています。

5月に笹団子作りのイベントを見学させていただきました。病室で食事相談しているときの表情とは

違い、笑顔が多く患者さん同士で談笑する姿を見ることができました。また病室では聞くことができなかった自宅にいたときの食事の話聞くことができました。またイベントや15時のお茶の時間にも訪問させていただき、食事の話ができればと思います。

栄養科でも月1回はイベント食を提供しています。現在もコロナウイルス感染拡大にて外出・面会が制限されている中、日々の食事で幸せを感じていただけるよう厨房スタッフとともに努力していきます。



遺族会係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
白滝 奈未

新型コロナウイルスの影響により2年間遺族会が中止となっております。しかし、今年は、感染対策に考慮しながら遺族会を再開することになりました。2年間という時間の中、私達の日常生活は多くの事が変化したように感じます。「郷和」では、面会制限が設けられ、患者様とご家族が共に過ごす時間が減りました。

このような背景の中、どのような形でケアを提供することが一番のベストなのかと模索と葛藤がありました。患者様の些細な変化を連絡したり、限られた時間の中でご家族にお話しを伺ったりと、できる限り患者様とご家族のご希望に添えるよう努めて参りました。しかしながら、日々変化する患者様の様子を、肌で感じることができる時間の少なさは、ご家族にとっても戸惑いがあったことと思います。また、最期の一息を患者様と共に過ごすことが叶わな

かったご家族も多くいらっしゃいます。どのようなお気持ちで過ごされていたでしょうか。

段階的に面会制限を緩和してはいるものの、いつでもお気軽にお越しくださいと言えない悲しさがあります。また皆様と一緒に他愛もない会話や故人に思いを馳せることができる、そんな日常が来ることを願って。お会いできる日を楽しみにしております。(計画しておりました遺族会ですが、もう少しで開催日・・・という時に、感染拡大のためやむなく中止させて頂きました。申し訳ございません。再びご案内ができることを心待ちにしております。)



行事・ボランティア係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟副看護師長
今井 希子

コロナウイルスの感染症対策のためボランティアさんとの活動が出来なくなり、2年以上が経ちました。

恒例となった笹団子作りは今年も患者さんに好評でした。また篠川先生を中心に、庭での野菜栽培を今年には更に増やし、ジャガイモを患者さんと一緒に収穫しました。先日も枝豆を収穫し、茹でたての枝豆を堪能しました。このように郷和のスタッフで協力しながら、患者さんに楽しんでもらえるように工夫しながら活動を行っています。

1日も早いボランティアさんの活動再開を願いながら、少しでも患者さんに入院生活の彩りとなるための行事を行いたいと思い、頑張っています。



2021年度 実施行事

4月	お花見	10月	押し花コースター作り
5月	笹団子作り		焼き芋
6月	菖蒲湯	11月	クッキー作り
	梅シューズ作り	12月	クリスマス会
7月	七夕まつり	1月	鏡開き、お汁粉作り
9月	お月見	2月	豆まき、紙芝居
	秋祭り	3月	ひな祭り

「郷和」利用状況

(2021年4月～2022年3月)

入院患者数	62人
-------	-----

退院患者数	62人
(死亡退院)	61人
(転医)	1人

一日平均入院利用者数	15.6人
------------	-------

平均病床利用率	78.2%
---------	-------

平均在院日数	92.0日
--------	-------

発行年月日 2022年8月15日

編集・発行 南部郷厚生病院

緩和ケア病棟「郷和」

〒959-1765 新潟県五泉市愛宕甲2925-2

TEL(0250)58-6111(代) FAX(0250)58-7300

ホームページ <http://www.sinjinkai.or.jp/kanwa/>

メールアドレス kosei@sinjinkai.or.jp

